

# 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 平成26年度 事業報告書

特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘  
理事長 平山 乾悦

〒981-0931 仙台市青葉区北山一丁目5番22号  
TEL/FAX:022-343-8880

## □昨年決議された平成26年度活動計画

- ①2011年3月11日に発生した東日本大震災後に立ち上げた「子どもの笑顔プロジェクト」の活動をつづけます。
- ②地域における実践の場として、指定管理者として運営を行っている児童館・児童クラブでは活動内容をより一層充実することと、外に向けて広く情報を発信する取り組みをすすめます。
- ③仙台市・宮城県との協議をすすめ、中央児童館の跡地の活用に向けた取組を行います。
- ④宮城県児童館連絡協議会、仙台市内児童館連絡協議会、全国子ども会連合会などの関係団体と連携を深めます。  
また、ジュニアリーダーやボランティアの育成・支援を行います。
- ⑤市町村の募集する児童を対象とした施設の指定管理者として応募し、地域での活動拠点づくりをすすめます。
- ⑥魅力的な研修会を年間を通して実施します。
- ⑦助成金や補助金などを確保し、法人としての体制強化に引き続きつとめ、社会福祉法人の設立を目指します。

## ■①「子どもの笑顔元気プロジェクト」

笑顔バスの活動は、宮城県内は51箇所(のべ4,574人参加)、福島県内は88箇所(のべ6,088人参加)、岩手県内は18箇所(1,923人参加)、合計で157箇所(12,585人)の参加でした。  
今年度は、昨年度に引き続き福島県の「外遊び支援」に取り組みましたので、福島県内の活動が回数参加人数ともに最大となりました。

活動の報告は以下のブログでおこないました。<http://kikaku-blog.p-kai.com>

## ■②指定管理者制度にもとづいて仙台市岩切・通町・鶴巻・八本松・荒巻マイスクール・立町マイスクール、利府町西部児童館、利府町児童クラブ・芦の口児童館・大郷町おおさと児童クラブで展開した委託事業報告 (活動報告書別紙②-1~9/各館からの報告)

## ■③宮城県中央児童館跡地活用

□具体的な進展はありませんでした。現在本館の解体は終了し更地になっています。

## ■④関係団体との連携・ジュニア・リーダーやボランティアの育成

□副理事長の新田新一郎は、公益社団法人全国子ども会連合会の理事に就任しました。  
理事(岩切児童館館長兼任)の羽賀崇子は、宮城県児童館連絡協議会理事、仙台市内児童館連絡協議会会長を務めました。  
宮城県地域活動(母親クラブ)連絡協議会の事務局は引き続き当法人の本部内にあることも含め、かつて宮城県中央児童館ゆかりの3団体ともにより連携を深めることができました。  
各児童館ごとにボランティア担当を決めて、年間4回のミーティングを実施しました。

## ■⑤市町村の指定管理者の公募

□仙台市内では、2期目の契約期間を終える仙台市通町児童館・鶴巻児童館とともに、新たに5年間(3期目)の指定管理者として選ばされました。  
また、新設の仙台市錦ヶ丘児童館の指定管理者としても選ばされました。  
さらに、大和町よしおか放課後児童クラブの業務委託も受け、当法人が運営する児童館・児童クラブ(岩切サテライト含む)は18ヶ所となりました。

## ■⑥魅力的な研修会の実施 報告

□平成26年度 NPO 研修会

タイトル:「絵本と出会ってみてきたもの」

日 時 :平成27年1月29日(木)19:30~20:30

講 師 :増田 吉昭(子どもの本専門店 メリーゴーランド代表)

参加人数:27名(外部3名 うち学生1名、一般2名)

内 容 :今回のテーマ「師と弟子」

自分の師と呼べる人はいるのかという問い合わせから自分の師である今江祥智氏との話や、親友ではなく心友がいるかどうか、心友になるためには相手に心友だと思ってもらわなければならないという話をいただきました。

おすすめの本の紹介もあり、倉田百三の「出家とその弟子」、夏目漱石の

「心」、川上弘美の「長靴下のピッピ」や「おはなしのろうそく」等を紹介

され、本の中には子供と付き合う上で必要なヒントがあるという話から本を

読むことで気づかぬうちに様々な人の思い(バトン)を受け取っていると

お話をいただきました。

感 想 :師と弟子というテーマでお話いただいたが、参加した皆さんは、増田さんの話が進むうちにどんどんその話に引き込まれていました。何冊か本の紹介もなされ、本に関する説明もわかりやすく、興味を引く言い回しで次の話にいくので最後の質疑応答の時間では本に関する質問もありました。

今回、増田さんの本の朗読ではなく、増田さん本人もそれだけ本気で話をしているとおっしゃっており、増田さんの熱意が伝わってくるとても心に響く研修でした。

## ■⑦助成金事業

### ●子育て支援者向け研修事業<大規模研修会>助成事業

#### 「子どもの笑顔・元気サミット」

□開催日時: 平成 27 年 1 月 11 日(日)13:00~16:00

□会場 : 情報・産業プラザ 多目的ホール(AER5F)

□参加者 : 合計 182 名・託児 9 名

□参加費 : 無料

□内容 : ①基調講演 講師:汐見稔幸氏(白梅学園大学学長・東京大学名誉教授)  
「みんなで一緒にのびのび子育てー育つ喜び育てる素晴らしさー」

②対談 「子どもと楽しむいきいき子育てのススメ」

講師:汐見稔幸氏／新田新一郎氏

### ●子育て支援者向け研修事業<小規模研修会>助成事業

#### 「子どもと楽しむための遊びネタ研修」

□開催日時: 平成 27 年 1 月 18 日(日)14:00~15:40

□会場 : 多賀城市文化センター 展示室

□参加者 : 大人 87 名・託児 4 名・参加の子ども 42 名

□参加費 : 無料

□内容 : ①「子どもと楽しむおはなし遊び」

講師:新田どんちゃん＆松村ひろみちゃん

②「子どもと楽しむあそびうたセミナー」

講師:あきらちゃん＆ラーメンちゃん

### ●「集まれ！おだづもっこキャンプ 2014」

□開催日時： ①平成 26 年 8 月 30 日(土)～8 月 31 日(日)  
②平成 27 年 2 月 21 日(土)～2 月 22 日(日)  
□会場： 国立花山青少年自然の家  
□参加者： ①小学生 27 名／大人 17 名 合計 44 名  
②小学生 33 名／大人 13 名 合計 46 名

### ●子どもゆめ基金助成事業

#### 子どもの文化創造祭「人形の森」2014

□開催日時： 平成 26 年 11 月 2 日(日) 11:00～16:00  
□会場： エル・パーク仙台 6 階スタジオホール・5 階セミナーホール  
□参加者： 500 名  
□参加費： 無料

### ●子どものまち IN りふ 2014

□開催日時： 平成 26 年 11 月 16 日(日)  
□会場： 利府町役場  
□参加者： 参加者 202 名＋観光客(参加者の保護者・見学者など)800 名  
□内 容： 3 回目(3 年目)の実施となる今回は出店数 45 店舗に増え、これまで実施してきたなかでも最大規模となりました。利府町長をはじめ多くのボランティアの参加で今年も大成功でした。

## ■平成26年度決算

□税引き前の当期純利益金額は予算 0 円に対し 378,242 円。税引き(252,400 円)後の当期純利益は 125,841 円です。

□総収入は、予算 218,706,500 円に対し 227,256,894 円(103.9%増)、前年比 3,093,911 円増でした。

指定管理料の総額は、予算 215,706,500 円に対し 218,327,250 円(101.2%増)で前年と比べると 3,297,250 円増(101.5%)となりました。

それ以外の収入(会費・助成金など)は、子どもゆめ基金の助成制度の縮小などにより、予算 3,000,000 円に対して 1,959,936 円(65.3%)。

事業外収入は 6,969,708 円で指定管理料以外の合計は 8,929,644 円で全体の 3.9%です。

□販売費及び一般管理費は、228,666,641 円で前年比(101.5%増)。

※営業総益は▲1,409,747 円で昨年より 220,997 円赤字が増えました。

そのうち人件費(役員報酬・給与手当・雑給・賞与・法定福利費含む)は 195,927,806 円で 85.7%です。昨年度と比べると金額で 7,112,231 円(3.76%)増加しました。

また、給与のうち残業手当として支払った総額は 9,198,292 円で、前年(9,453,998 円)より 255,706 円削減することができました。